

# 原ゆうじ市政報告 VOL.39

TEL070-5540-9565 メールアドレス yuji.hara88@gmail.com

〒271-0063 松戸市北松戸3-5-24 公式 HP:hara88.mobi



(原ゆうじのプロフィール)  
1965年松戸生まれ 上本郷小、六中、立教高校、立教大学理学部化学科卒。長瀬産業(商社)勤務を経て家業であるベーカリー店を継ぐ  
平成22年、市議初当選(現在2期目)妻、4子(3男1女)の6人家族

松戸市議会議員 原ゆうじの市政最新レポート

税金の無駄遣いは許さない!

松戸市が  
方針を  
大転換!

## 原ゆうじの主張認められる!

指定管理の業者選定大幅見直し! 透明性確保へ!

コスト部分の配点 UP!(市発表) = 新規参入の促進!

これまでの経緯、昨年12月議会、北山会館の指定管理(注1)業者認定議案に反対をいたしました。しかし、議案は可決となり、過去8年間管理を受注している業者に年約6600万円でもたまたま決まりました。

反対理由①異常までに低い経費削減項目の配点!

北山会館選定時のコスト部分の配点は、125点満点中なんと5点! 配点比率にしてわずか4%! あまりにも低く、逆に実績の項目の配点が高くなっており、これでは新規参入はほぼ不可能かと思われます。

反対理由②不可解な? 応募資格追加! 1者のみの応募に!

なぜか? 3回目の今回選定から「千葉県内の公営斎場運営実績4年以上」という応募資格の追加が突然に行われ、結果、前回4者の応募から、今回は競争のない1者のみの応募となってしまいました。

競争なき業者選定 = 管理料の高止まり → それは税金の無駄遣いだ!

現在の業者には市職員のOBが就職していることがわかっています。これでは天下り先確保のために、はなから現在の業者が決まっていた? と疑惑をもたれかねません! また、競争なき業者選定は、指定管理制度の目的(サービス向上&経費削減)にも反するものと考えます。そこで、市に対し、指定管理者選定の見直しを訴えました。この原ゆうじの訴えにマスコミも呼応、3月26日付の朝日新聞には、市は「見直しも検討」と報道されていました。そして、遂に9月17日の読売新聞で、具体的な見直しの内容が以下のように報じられました!

(注1)指定管理者制度とは?

平成15年の法改正により、それまで、市や外郭団体が管理をしていた市の施設を、民間の団体に包括的に管理を委託する制度。

(注2)北山会館の指定管理実績

1期目(H19から22年度)2者から選考

2期目(H23から26年度)4者から選考

いずれも松戸葬祭業協同組合が選定

9/17  
読売

指定管理者審査委員名公開へ

松戸市選定の透明性確保

松戸市は、指定管理者選定の透明性確保のため、これまで非公開としていた審査委員の名前を公開する方針を決めた。一部施設での選定を巡り、市議会から透明性を求められたことを受けた措置で、来月設置の審査委員会から適用する。審査委員会は、指定管理者選定の必要に応じて設置され、松戸市では市職員と外部の有識者ら6人以内で構成することになっている。同市は公開を前提としていなかったが、今後は委員の承諾を得て市のホームページで公開する。

市政報告会開催!!  
10月18日(日)  
北松戸会館 予約不要 & 無料  
PM 4時 ~ 5時30分

また、審査委員会が行う業者の評価で、業者側が示す「管理経費の縮減」の配点を上げる改善も行い、指定管理者制度が目指す経済性の向上も図る方針だ。同市の指定管理者制度では、斎場「北山会館」(松戸市串崎新田)での選定の際、新規参入が困難な条件が加えられるなどし、昨年12月の市議会では、透明性や公平性を求める意見が相次いだ。